

平成20年 1月18日

第134号

発行所 広島県歯科医師連盟

広島市中区宝町5-30 TEL (082) 241-8020

編集兼発行人 栞田博昭

広島連盟 ニュース

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう

平成二十年
広島県歯科医師連盟



写真：県連盟員 片岡直樹氏(佐伯)

迎春

年頭所感

広島県歯科医師連盟
会長 山科透



新年明けましておめでとうございます。

連盟員の皆様には、ご家族お揃いで健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月から、新執行体制の下、会務執行をお預かりしておりますが、先生方のご理解ご協力のお蔭をもちまして新年を迎えることができました。

昨年を振り返りますと、3月の広島市長選挙

等の首長選挙をスタートに、県・市・町議会議員選挙、そして我々の最大の関心事でもありました7月の第21回参議院議員選挙と、とにかく選挙に明け暮れた感じがいたします。

参議院選挙の結果については、皆様方ご存知のとおり自民党・公明党の連立与党が大幅に議席を減らす反面、民主党が大躍進を果たすこととなり、参議院においては議席数が与野党逆転という、ねじれ国会の事態を招いております。

このことにより、昨年9月に誕生した安倍内閣は僅か1年の短命に終わ

わり、福田内閣が誕生したのは記憶に新しいところですが、衆参のねじれ現象による国会審議は、衆議院の解散総選挙という事態を招く様相を呈しております。

しかし、歯科界においては、本会会員でありま

す石井みどり先生が、全国会員の献身的な活動により228、165票を獲得され、自民党例代表

当選者14名中8位という高位当選を果たされたことは、今後の歯科界の活性化に向けて明るい材料であり、喜ばしいことであると思っております。

平成20年度の診療報酬

改定に対しては、歯科界は過去3期連続してマイナス改定が実施されており、加えて歯科医療現場の実情を無視した膨大な事務量を押し付けることにより、医院経営は瀬戸際

の状態にあることは会員一人ひとりが身をもつて痛感されていること

と思います。しかしながら、どのような状況であろうとも、安心・安全で良質な医療を安定的に提供していくことは歯科医療従事者に与えられた使命であることと変わりはなく、今後の歯科医療は、感染対策を含む医療安全を十分考慮しつつ、歯科医療の質を高め、加えて後期高齢者歯科医療の重要性を認識していくことが重要であると思っております。

特に、後期高齢者歯科医療については、在宅歯科医療の重要性が益々高まると同時に、地域医療連携も必要不可欠であると考えています。

石井先生には、診療報酬改定を含む山積する諸問題解決に向けてご活躍賜りますようご支援いただいた連盟員の先生方共々大いに期待するところであります。

新年のご挨拶 参議院議員 石井みどり



新年あけましておめでとうございます。

広島県歯科医師連盟員の先生方におかれましては、平成20年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年の3月からスタートした選挙戦も、昨年

7月29日に先生方のご支援のおかげをもちまして、職域代表として無事、当選をはたす事が出来ました。公職選挙法の関係上、お礼の文書等が出せませんでしたので、失礼をいたしております。

この場をお借りしてのご挨拶にてお許しをお願いいたたく存じます。

思い起こせば、自民党への大逆風の中、大変厳しい闘いの日々でした。先生方の暖かい励ましと献身的なお支えを糧に、

崩壊寸前の疲弊しきった日本の歯科医療を何とか夢と希望の持てるものに再生したい、その一心から戦い抜くことができた。胸に熱いものと共に先生方のお顔が蘇ってまいります。

さて永田町に参りました5カ月が過ぎましたが、予想を遥かに超える多忙な日々を送っています。早期あるいは昼食を挟んでの政務調査会各種委員会・自民党厚生労働部会等の勉強会への出席、国会対策委員や所属委員会(厚生労働委員会・決算委員会・ODA特別委員会)、少子高齢

化・共生社会に関する調査会といった国会での議員活動、広報局長・女性局長あるいは党都連・広島県連所属自民党議員としての党務、平成研(津島派)の運営幹事等々スニーカーを履いて議員会館から参議院、衆議院会館第1、第2、自民党本部、TBR(平成研事務所)と、連日飛び回っています。土曜・日曜日は各都道府県・地区歯科医師会の行事・会合への出席と選挙が終わった後も、日本中を駆け回るめまぐるしい生活が続いています。

年度予算編成と税制大綱の策定期間で、政治決着を巡って様々激しい動きが活発でしたが、実はこの原稿を書いている今が、まさに、その正念場であり、先生方がこの会報を手に取られている頃には、診療報酬改定率と税制改正の動向が決定していると思えます。

歯科医療は何としてもプラス改定を勝ち取らねばならず、同時に、党税調でもしっかりと発言をし、多くの同僚議員の応援を得て、全力で取り組んでおります。

少しづつ慣れてきたとはいえ、まだまだ新人議

行いたしますが、先達の先生方が嘗々脈々と築いてこられた歴史と伝統を回顧すると同時に、次の世代のスタート地点とすべく本会として諸事業を展開していくこととしておりますので、連盟といたしましても側面的にこれを支援していきたいと考えております。

以上のように、連盟は本会と一体となって先生方の業権の確保・拡大に繋がる活動を積極的に展開していきたいと思っております。

連盟員の先生方の暖かいご理解と力強いご協力を賜り、本年が希望に満ちた一年となり、明るいついでへの第一歩の年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

員、先生方から臨床現場からのお声をお聞かせ頂き、診療環境の改善に繋がってまいりたいと思っております。6年間の任期の中で、少しでも、少しずつでも日本の歯科保健・医療の発展・充実のために、粉骨砕身、努力と精進を致してまいります。

本年も先生方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。広島県歯科医師連盟の一層のご発展と先生方の益々のご健勝を心からお祈り申し上げます。

です。

感 所 頭 年

団結して、さらなる発展を

日本歯科医師連盟

会長 永山 一行



新年あけましておめでとございませう。全国の先生方には平成20年の新春を爽やかに迎えることとお慶び申し上げます。

旧年は新生日歯連盟にとつて試練の年でもありました。しかし、会員諸先生が一致団結したことによって、歯科界の底力を示すことができた年でもあったと思えます。

旧年7月29日に執行された第21回参議院議員通常選挙において、自民党に対する逆風の吹く中、石井みどり先生が比例8位で当選したことは歯科界にとつて久しぶりの明るい話題でした。歯科界の厳しい現状から何とかして脱却したいとの全国会員の強い気持が、あの票に凝縮していると思えます。

日歯連盟としては、これまでの職域代表とのあり方を反省し、国会議員として、また職域代表議員として、国民と歯科界の付託にどう応えていくのか、石井先生の

上の改定率を内容とする要望書を取りまとめ、衆議院議員選挙における歯科界の支援体制を示すとともにプラス改定の実現を強く要望しました。

その後、強力な働きかけが中央において、さらに都道府県レベルでも共に進んで行われました。社会保障費については、08年度予算編成の大枠を示すシーリングで2、200億円の抑制が決められていたこともあり難航し、結果的には、私どもが要求したプラス改定率とは程遠い形で改定率が決定しました。

しかし、8年ぶりの「本体部分」のプラス改定であることは、これから中協協定で始まる診療報酬改定においてプラスになることは確かであり、4月からの診療現場において、前回のようない混乱が起きることはないと確信しているところです。

今回の医療費プラス改定を求めるロビー活動において感じたことは、選挙区での日常的な政治活動の重要性でした。今年度は都道府県歯連盟レベルでの歯科に理解のある政治家との会議（デンタルミーティング）を各地区で開催していただきたいと思っております。

それを拡大、発展させた会議を日歯連盟の場でも実施することをお考えしております。大事なことは「まず献金ありき」でなく、いかに今後の歯科医療政策を政治家に訴え、理解を求めていくかだと思えます。

日歯連盟は戦後、職域代表としての歯科医師を3年毎に国政の場に送ってきました。今年中に石井議員とペアを組む職域候補を擁立したいと考えております。

また、今年4月から後期高齢者医療制度が発足します。社会保障審議会での検討を踏まえ、年初めから中協協定診療行為に対する点数配分が議論されます。歯科診療の特性を踏まえた適正な評価の検討が重要項目として位置づけられてい

ますが、介護保険の二の舞は絶対にあつてはならないと思っております。

他にも、レセプトオンライン請求の義務化に関する問題、混合診療解禁問題、歯科医師の需給対応など、今年、日歯連盟が対応しなければならぬ課題は山積しております。

しっかりとした根拠と信念を持つて対処するつもりであります。先生方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

衆議院議員

中川 秀直



平成20年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

地元・広島の皆様方は、お揃いでお元気に新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、社会全般に「責任」というものが大きく問い直される一年で

した。私は、いま生きる人の最大の幸福と、次の世代の幸福を第一に考える政治の原点に立ち、今年一年、「未来への責任」「安心への責任」「安全への責任」「安定への責任」という四つの責任に取り組んでいく決意です。

「未来への責任」とは「あたたかい改革、力強い成長」であると考えています。

93年に世界第一位だった一人当たり国民所得は20位前後まで低下しつつあります。私は次世代のために、

た一人当たり国民所得は20位前後まで低下しつつあります。私は次世代のために、

た一人当たり国民所得は20位前後まで低下しつつあります。私は次世代のために、

ためには、第一位の座の復活をめざし、今後20年、「改革と成長」路線を堅持すべきと考えます。「はじめに増税ありき」の議論には反対します。

また、「安心への責任」とは持続可能社会の構築であると考えています。いま、国民が最も国政に望むのは社会保障制度の充実です。

年金記録の点検を行い、新たな年金記録システム構築を行いながら、あらゆる世代が年金・介護・医療等について老後の心配をしなくて済むよう、「長期的」視点で「社会保障・税制一体改革」に取り組みます。

その際、政権交代があつても変更がない社会保障の制度設計についての合意形成をするため、政党間協議を行います。国民一人一人の「社会保障個人勘定」を創設し、年金・医療・介護等のサードプランを自分で設計できる「カフェテリア方式」を導入します。

以上が私の本年に対する決意でございます。何卒、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

おわりにあたり、広島県歯科医師連盟皆様方のご隆盛とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

参議院議員 溝手 顕正



新年明けましておめでとございませう。広島県歯科医師連盟の先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また一昨年より務めておりました国務大臣の職を後任に引き継ぐこととなり、様々な出来事はございしましたが、その職務をまっとうすることが出来たと考えております。

これも先生方はじめ、多くの県民、国民の皆様のご支援の賜物と、改めて皆様のご厚情に感謝申し上げます。次第でございます。

さて、この度、新たに自由民主党税制調査会の副会長に就任することになりました。人口減少社会の到来に加え、少子高

ましたが、4期目の当選の栄に浴することが出来ました。

また一昨年より務めておりました国務大臣の職を後任に引き継ぐこととなり、様々な出来事はございしましたが、その職務をまっとうすることが出来たと考えております。

これも先生方はじめ、多くの県民、国民の皆様のご支援の賜物と、改めて皆様のご厚情に感謝申し上げます。次第でございます。

さて、この度、新たに自由民主党税制調査会の副会長に就任することになりました。人口減少社会の到来に加え、少子高

齢化も急速に進展する中において、国のあり方を真剣に議論し、社会経済情勢の変化に対応しつつ財政再建を果たしていくという大きな課題に取り組むべく尽力して参りましたが、政治主導によって誤りなき方向へと導いていかなくてはなりません。本年も必ずしも樂觀は許されぬ厳しい一年になることも予想されますが、今後も皆様の視線に立つて、またリーダーシップを発揮しながら、たゆまぬ努力を続けて参ります。

終わりに、皆様健康で明るい幸せな一年でありますようお祈り申し上げますとともに、広島県歯科医師連盟の益々の発展を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭感

年頭のご挨拶

衆議院議員 宮沢洋一



年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。山科透会長をはじめ広島県歯科医師連盟の先生

方、並びにご家族、ご関係の皆様におかれましては、お元気で新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、平均寿命をはじめ国民の健康は、世界最高水準に達している一方で、医療をとりまく環境は、世界に例を見ない急速な少子高齢化が進行するなど大変厳しい状況にあります。その様な中で、昨年の参院選において、日本歯科医師連盟参与である石井みどり先生が見事ご当選されたように、国民の歯科医療に対する関心と期待は確実に高まっており、歯科医療が抱える諸課題に適切に対応し、安定的で持続可能な医療制度を構築し、国民全てが安心と希望の中に生活を営むことが望まれます。私も自由民主党の政調副会長（厚生労働担当）、社会保障制度調査会副会長、衆議院厚生労働委員会の理事の立場から全力を尽くす決意でございます。本年も一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。貴会の益々のご発展と、皆様方のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。

新たな100年に向けて

衆議院議員 増原義剛



新年あけましておめでとございませう。広島県歯科医師連盟の皆様方には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は広島県歯科医師会が生まれ、100年、歯科医師連盟が設立されて25年という節目の年で

した。今年は新たな100年に向けて「咬む」ことを主体とした脳との関係、子どもの発育に向けて活動をスタートされること、歯科医療を通じて地域社会に貢献される皆様方には改めて敬意を表する次第であります。昨年度の歯科医療費はマイナス3.9%となり、高齢社会に対応した在宅患者の治療と継続的な口腔管理、歯科医療機関の事務負担の軽減策など、歯科医療を取りまく環境は厳しく適切な措置を図る必要があります。さて、昨年は年金問題、大臣の問題発言、そして参議院選挙の自民党大敗、内閣改組した安倍政権の所信表明演説直後の辞任があり、9月に福田内閣が発足しました。民主党の小沢代表の辞任劇もあり、政界迷走の感があった1年でした。私も国会対策副委員長として円滑な国会運営に努力いたしました。また党税調幹事を統括し、年金の国庫負担増をにらんだ税制

新春によせて

防衛大臣政務官 衆議院議員

寺田 稔



新春あけましておめでとございませう。広島県歯科医師連盟の先生方におかれましては、健やかにすばらしい新年をお迎

えになられたこと心よりお慶び申し上げます。歯科医師連盟の先生方におかれましては、常日頃より歯科診療充実・向上に多大なるご尽力ご貢献を頂き心より敬意を表する次第であります。私も身内に三名の歯科医師がお

質の高い歯科医療の実現

衆議院議員 平口 洋



明けましておめでとございませう。広島県歯科

医師連盟の先生方並びに御家族、関係者の皆様には、お元気で新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。先生方には平素歯科医療を通じて国民の健康の保持増進に大きく貢献されて

おり、深く敬意を表します。昨年の参議院選挙において自民党は大敗北を喫しましたが、逆風の中にあっても、日本歯科医師連盟ご推薦の石井みどり先生が大変良い成績で見事当選されましたこと心よりお喜び申し上げます。石井先生の力によって歯科医療の分野が一段と発展向上するものと期待しています。本格的な少子高齢社会

あるべきでしょう。歳出カットの努力は勿論恒常的に必要ですが、後期高齢者医療制度にみられるとおり無理な歳出カットは制度の改悪を招きかねません。その他の方策としては、超長期国債（コソスル債）の発行、国有財産の売却、各種手数料の引き上げによる増収策、貨幣回収準備金等各種準備金の取り崩しなどが考えられます。現在政府は全力を挙げて医師確保策に取り組みしており、1983年に当時の厚生省吉村局長が述べた「医療費亡国論」がそのままま生きているとは思えません。事実上、そ

をを迎え、健康で豊かな生活を営む上で、歯の健康は一層重要となつていきます。このため、国民の皆様が安心して納得できる歯科医療を受けることができるようにする必要があります。質の高い歯科医療サービスが効率的かつ適切に提供されなければなりません。これに対して、歯科の診療報酬は年々引き下げられており、良質な歯科医療の提供にはほど遠くなつてきているのが現状です。何としても歯科の診療報酬の適正化が図られなければなりません。その実現に向けて全力を尽くします。このほかにも、歯科医師国家試験の合格基準の引き上げによる新規参入歯科医師の削減、適切な口腔管理によるメタボリックシンドローム対策、8020運動の一層の推進による歯の健康力の確保など多くの課題があり、歯科医師連盟の先生方から色々教えていただきながら課題解決に全力を尽くします。歯科医師連盟のますますの御発展と皆様の御健勝をお祈り致します。

年頭所感

年頭のあいさつ

広島県議会議長 林 正夫



新年明けましておめでとございます。

広島県歯科医師連盟の皆様には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

なにより、昨年7月には、石井みどり先生が、

皆様は熱気に満ちた力強い支援により、見事参議院選挙初当選を果たされ、本当におめでとございます。改めてお祝い申し上げますとともに、

私ども、平素からの皆様の温かい御支援により、県議選7回目の当選を果たし、また県議会議長に就任することができましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、現在、国においては、福田内閣のもと、

行財政改革や地方分権改革など、我が国の姿を決め、本県の将来を左右するといっても過言ではない重要な改革が推進されております。

本県におきましては、これまで、全国に先駆けて市町村合併を推進し、

地方分権改革に取り組んでまいりました。今後とも、国からの権限と税財源の移譲を進め、真の分権型社会の実現に取り組むとともに、

「元氣挑戦プラン」に基づき、活力と安心、希望のある「元氣な広島県」を目指して全力で取り組みむこととしています。

県民の皆様への御期待に応えられるよう、議会改革に積極的に取り組むとともに、

県民の皆様の付託と御期待に応えられるよう、議会改革に積極的に取り組むとともに、

県民の皆様の付託と御期待に応えられるよう、議会改革に積極的に取り組むとともに、

県民の皆様の付託と御期待に応えられるよう、議会改革に積極的に取り組むとともに、

年頭のご挨拶

広島県議会議員 石橋良三



新年明けましておめでとございます。広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨春の統一地方選挙におきましては厚いご支援を賜り誠にありがとうございました。

高い成績で五期目の県政壇上へ送り出して頂き、心より御礼申し上げます。

夏、参議院議員選挙において我々が石井みどり氏が無事初当選を果たされ、今後の歯科医療界の充実発展のためにも、皆様と共に石井議員を応援した一人として大変嬉しく思うと同時に、

安心して次第でございまして、同選挙での自民党の大敗は小泉元首相主導の構造改革に対し、遂に国民の堪忍袋の緒が切れた結果であるかと存じます。規制緩和の名の下に為された種々の政策の歪みが今「格差」という形で続々と顕在化しています。私たち一人一人が厳しい現実に立ち向かわねばならないのと同様、本県財政も依然厳しい状況に直面されています。近い将来実施されるであろう道州制における州都の獲得も現状のままでは実現困難と思われるかと存じます。

このような時だからこそ、私たちは衆知を結集し一致団結して物事に取

り組んでいかねばなりませんし、私も皆様の代表として県政に送り出して頂いた責任を痛感する次第でございます。

平成の御世も早や20年を迎えました。この節目の年を今後の我が国また本県にとって輝く将来に続く道とするべく、微力ながらも全身全霊を傾けて参る所存でございますので、変わらぬご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、広島県歯科医師連盟の益々の活躍と、皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。

次に、以下の報告が行われた。

一般事務報告(荒川理事長より)

中央情勢報告(本山相談役より)

その他

新年のごあいさつ

自由民主党広島県支部連合会

幹事長 奥原信也



新年あけましておめでとございます。

皆様には、お健やかな新春を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

今年の子年、子(鼠)

日本においては凶悪犯罪の増加による生活不安、さまざまな格差の問題、年金記録の問題、食の安全の問題など多くの諸課題をかかえており、わが党は世界の人々及び日本国民からの期待に応えて行く責任があります。

わが自由民主党は昨年9月には安倍総裁の健康問題での突然の辞意にともない、急ぎよ総裁選挙を実施し、福田康夫新総裁を選出しました。「暮らして安心」「誠実に着

実に」をスローガンにこの難局に一致結束して解決し、安心で安全な国づくりを進める所存であります。

皆様におかれましては、引き続きわが党に對しまして変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

最後に、新しい年が皆様方にとって、明るく輝かしい年になりますよう祈念し、ごあいさついたします。

平成19年度

第3回(臨時)理事会

8月29日(水)午後6時より、県歯会館4階「役員会議室」に於て標記理事會が開催された。

まず、穴村紳一副会長の開会の辞で始まり、次に、山科透会長より「本日は臨時の理事会

でございます。こうやって会を開催できるのは、先生方のおかげであると感謝しております。

石井みどり先生につきましては、2年前の2005年11月8日、参院選の候補者を募りましたところ、立候補するということとで、広島県歯科医師連盟の推薦状をお渡ししました。2006年選挙で選考されて、2006年5月9日、石井みどり中央後援会を発足して以来、各選挙地区で選挙活動を開催しまし



第3回臨時理事会(8/29)

た。本年度に入り、5月30日東京で全国の連盟の支部長が集まって、石井みどり激励会を行いました。長期間に渡って、先生方にご苦勞をおかけしましたが、お蔭様で素晴らしい結果となりました。今日は、評議員会に石井みどり先生も来られて、挨拶する予定であります。

選挙活動の反省点、感じることいろいろあると思いますが、3年、さらに6年後に候補者を出すといったときに、今回のものを役立てるために、すぐに結論を出すのではなく、落ち着いて少し時間をかけて総括を出していきたい。そのために感情的にクールダウンした状態でやっていきたいと思っております。よろしく願います」と挨拶があった。

顧問の委嘱については、連盟規約第10条に顧問、相談役は会長の意思にて委嘱するとありますのでご承認を賜りたい」と提案があり、理事会の賛同を得て、石井みどり参議院議員を常任顧問に委嘱すると決定した。最後に森本克廣副会長により閉会の辞にて終了した。

第49回(臨時)連盟評議員会

石井みどり参議院議員
常任顧問に就任

平成19年8月29日(水)午後6時30分標記評議員会がエソール広島2階「多目的ホール」において、荒川信介理事長の司会進行のもと、冒頭に「本日の評議員会は過日行われた参議院選挙の総括が主旨である」との趣意説明があり、その後、徳久行夫副会長より開会の辞があった。

山科透会長から「こうして集まっていたたく事は代表者として本当にうれしく思います。2005年11月に次期参議院選挙候補者を募ったところ

生が先生方に直接ご挨拶のことばを述べられます。今までの色々な気持ちがあると思われ、本日のお祝いの気持ちを込めて先生にエールを送って頂きたく思います。



委嘱状を手渡される石井みどり議員

本日、石井みどり先生にエールを送る。この道は歯科界の苦境を背負って東京で政治活

動をしていく訳です。色々とバックアップしていかねばなりません。これから本当に苦しい

心より厚く御礼申し上げます。国政報告ですが、第167回国会は8月7日に開催し8月10日に臨時休憩に入りました。党のほうから正式な通知はまだありませんが、一応9月10日に再開と聞いております。そこであれば、新人議員は全て国会対策委員という事ですので、また8時過ぎから国会のほうへ詰めるという生活が始まると思っております。臨時この4日間は予算委員会と在籍委員会に仮置きということでございませう。既に昨日党の厚生労働部会が開かれたという報道が流れていましたので、私は党の方は勿論参議院の委員会も全て所属の希望を出してはいるのですが、本日に問合わせをしたところ、配属の日程が遅れているという事、遅くとも10日には承るとい事でした。現在私は津島派に所属しております。そして本津島派の方から所属の委員会に配属できるよ

資料作りに徹していただきたい。今様々な勉強会がございますが、全ての方にお願いをするのではなく、私たちの要求を通すためには政治の場ではラインを間違えないことです。間違えたと逆を引く張られ兼ねないと思っておりますので、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟がきちんと選り間違えないように、正しい人事をして頂いて私たちの要求を通していきたく。永田町を幾らでも駆けまわります。そして先生方のお力になる事に向けて働きたいと、今フアイトを燃やしております。永田町に行つて果たして今だけ働けるのか、これは未知数でございます。しかし存分に走りまわりたい、そして少しでも多くの先生方の気持ちを国政に反映していきたい。その念願をしております。新人でございます。どうぞ温かい目で又時には厳しいご意見を頂きながら政治家として精進をしたいと思います。これからも先生方のご指導ご鞭撻を頂いて参りたく思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。本日は有難うございました」と国政報告を兼ねた挨拶があった。

あけましておめでとうございます。新たな一年の始まりに誰しも「今年はいよいよでありますように」と願います。石井みどり先生の当選した昨年からは歯科界にとってよい年になるような気がしますが、いや、必ずなると思います。楽しみな一年のスタートです。(泰)

連盟会務報告

(平成19年6月14日～12月21日)

Table with 2 columns of dates and corresponding meeting titles. Column 1: 6.14, 7.15, 7.16, 7.17, 7.18, 7.19, 7.20, 7.21, 7.22, 7.23, 7.24, 7.25, 7.26, 7.27, 7.28, 7.29, 7.30, 8.31, 9.1, 9.2, 9.3, 9.4, 9.5, 9.6, 9.7, 9.8, 9.9, 9.10, 9.11, 9.12, 9.13, 9.14, 9.15, 9.16, 9.17, 9.18, 9.19, 9.20, 9.21, 9.22, 9.23, 9.24, 9.25, 9.26, 9.27, 9.28, 9.29, 9.30, 10.1, 10.2, 10.3, 10.4, 10.5, 10.6, 10.7, 10.8, 10.9, 10.10, 10.11, 10.12, 10.13, 10.14, 10.15, 10.16, 10.17, 10.18, 10.19, 10.20, 10.21, 10.22, 10.23, 10.24, 10.25, 10.26, 10.27, 10.28, 10.29, 10.30, 10.31, 11.1, 11.2, 11.3, 11.4, 11.5, 11.6, 11.7, 11.8, 11.9, 11.10, 11.11, 11.12, 11.13, 11.14, 11.15, 11.16, 11.17, 11.18, 11.19, 11.20, 11.21, 11.22, 11.23, 11.24, 11.25, 11.26, 11.27, 11.28, 11.29, 11.30, 12.1, 12.2, 12.3, 12.4, 12.5, 12.6, 12.7, 12.8, 12.9, 12.10, 12.11, 12.12, 12.13, 12.14, 12.15, 12.16, 12.17, 12.18, 12.19, 12.20, 12.21. Column 2: 石井みどり候補担当役員会, 連盟監査, 第2回連盟評議員会, 第48回連盟評議員会, 林正夫後援会総会, 日歯連盟理事会, 岸田文雄君を激励する会, 自民党連代表者各種団体合同会議, 日歯連盟第4回総合戦略会議, 三次・庄原・安芸高田支部合同石井みどり総決起大会, みぞて頭正広島事務所開き, 自民党幹事長中川秀直代議士を励ます会, 自民党広島支部女性部長会, 日歯連盟タスクチーム, 石井みどり総決起大会, みぞて頭正広島事務所訪問, 河井克行ゆめづくりフォーラム, 参議院選挙遊説説明会, 東広島支部石井みどり候補決起集会, 連盟ニュース132号発行, 電話作戦, 広島市歯科医師会各支部長及び企業等挨拶廻り, 参議院議員選挙公示日, 石井みどり中央後援会出陣式, 日歯連盟タスクチーム第2回会合, みぞて頭正神事・出陣式, 石井みどり広島県後援会神事・出陣式, 日歯連盟電話作戦, 日歯連盟電話作戦, 石井みどり候補市内遊説・街頭演説, 日歯連盟第5回総合戦略会議, 連盟三役・支部長会議, 日歯連盟理事会, 日歯連盟第6回総合戦略会議, みぞて頭正総決起大会, 参議院議員選挙投票日, 石井みどり参議院議員挨拶廻り, 連盟ニュース133号発行, 林正夫県議会議長就任祝賀会, 第3回連盟理事会, 第49回連盟臨時評議員会, 平口洋君を激励する集い, 都道府県連盟会長会議, 日歯連盟理事会, 第101回日歯連盟評議員会, 増原義剛君と語る会, 藤田博之の広島市議会議長・全国市議会議長会会長就任を祝う会, 石井みどり中央後援会顧問会議, 寺田裕君を励ます会, 齊藤鉄夫君を励ます会, 日歯連盟理事会, 河井あんり県議会議長就任祝賀会, 日歯連盟時局対策委員会第3回診療報酬問題対応チーム, 岸田文雄先生内閣府特命担当大臣就任を祝う会, 国民歯科医療を守る総決起大会及び国民歯科医療問題議員懇談会, 溝手参議院議員、岸田内閣府特命担当大臣と面談, 日歯連盟理事会, 大井哲郎県議会議員と面談, 国民医療を守る決起大会, 亀井郁夫君を励ます会, 砂原克規県議就任10周年記念祝賀会, 日歯連盟理事会

次は第3回理事会での協議事項で、石井みどり参議院議員を本会の常任顧問として承認決定した事を受けて山科会長より委嘱状が手渡された。続いて石井みどり参議院議員から、去る7月29日に施行されました第21回参議院選挙は先生方の御蔭をもちまして無事当選する事ができました。こ

この機会を山科会長に作って頂いたのをごりやって直接ご挨拶を申し述べる事が出来ました。

やはり一番は厚生労働委員会として厚生労働部会です。すでに来年度の予算は8月の始めにシリングがでましたが、本日予算の内容が出ております。詳しくは私もまだ検討しておりませんが、来年度の診療報酬改定がまさに当面の目標です。参議院の任期は6年間ですので6年で何を

最後に、これからの石井みどり先生へのご活躍を祈念して満場の拍手でエールを送り、会を終了した。

新年明けましておめでとうございます。昨年来を振り返ると選挙が始まり石井みどり議員の誕生で終わった。忙しかったが選挙関係者がいかに忙しかを少しは肌で感じる事ができた。今年診療報酬改定があるが期待できる改定になってほしい。今年もよろしくお願ひします。(S)